

令和6年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 協働のまちづくり推進室

1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市赤目市民センター
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	別紙 資料1のとおり
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	別紙 資料2のとおり
(4) 市支出額	別紙 資料3のとおり
(5) 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターの利用の許可に関すること ・市民センターの施設及び設備器具の維持管理に関すること ・名張市市民センター条例第2条に掲げる事業に関すること ・その他名張市が別に定める業務

2 提案内容の達成状況 (特記事項)

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
平等利用の確保、利用者サービス向上の取組	「公立性・中立性の確保」、「インターネットを活用した情報提供」、「障害者・高齢者等に配慮した事業の実施」及び「地域の実情に応じた弾力的運営」について提案があったが、利用者アンケート、指定管理者による自己評価を基にチェックが行われ、また積み残しの課題もないことから、提案どおり達成されている。
施設効用の最大限発揮 (利用促進、利用者増など)に向けた取組	「市民センターだより・インターネット等による参加者募集」、「関係団体等との連携」、「主催講座・学級の実施」、「利用者アンケートの実施」等について提案があったが、業務報告書及び現地立ち入り調査の結果、提案どおり達成されている。
施設の適切な維持管理及び経費節減への取組	「施設の定期的確認」、「清潔の保持」、「役員会等による業務点検」、「第三者の活用による保守点検等」、「防犯防災マニュアルの整備」、「緊急体制の確保」、「経費節減努力」等について提案があったが、業務報告書及び現地立入調査の結果、提案どおり達成されている。
施設管理を的確に行う 人員配置・職員研修等への取組	「生涯学習責任者及び事務員の配置」、「研修会への参加」、「他の市民センターとの情報交換・交流」等について提案があったが、事務員は協定書付属の業務仕様書の配置基準以上に配置されており、研修会等にも積極的な参加実績があることから、提案どおり達成されている。

管理運営の成果

生涯学習活動の適正な支援が行われているか	<p>歴史講座等の定番の講座は、一定のニーズがあり集客数も維持している。また、人権学習は年1回必ず実施しており、さらに意識向上と参加拡大を図るため、人権学習に対する固定的なイメージを払拭できるような表現をする等の検討を行っている。子ども向け教室の開設や、引き続き青少年育成部が小・中・若者の参画できる場を提供できるよう取り組んでいる。</p> <p>赤目地域の特性を生かした講座や学級を実施するなど住民のニーズに応じた生涯学習活動が行われている。</p>
地域づくりの拠点（住民の居場所として住民の活動の拠点）としての役割を果たしているか	<p>赤目まちづくり委員会の事務局としての機能を担い、地元青年会など地域を支える団体と連携しながら、各種事業の企画、運営拠点として着実に機能している。世代間交流の推進をはじめとする取組を通じて、地域づくり活動の拠点としての役割を十分果たしている。</p>

3 施設設置者（名張市）の総合評価

赤目市民センターは、地域資源を活かした事業を展開し、赤目地域を紹介する拠点として「旅のステーション」の活用・整備を進めるなど、地域の魅力発信に寄与している。あわせて、市民の交流機会の創出として「ふれあいサロン」や、子育て広場「忍たま広場」を継続的に開催し、世代を超えた居場所づくりに取り組んでいる点は評価できる。

さらに、災害時要援護者の把握を積極的に進めるなど、地域の安心・安全を支える防災拠点としての役割も着実に果たしている。これらの取組は、地域住民の暮らしの質向上とコミュニティのつながり強化に資するものとなっている。

総じて、赤目市民センターは、魅力発信・交流促進・防災機能の三位一体で地域に貢献している。今後も、関係団体との連携強化や情報発信の工夫、参画機会の拡充を図りながら、地域の人々が集い、交流し、地域の魅力を共有できる場として、適正な管理・運営の一層の充実を期待する。